

2007.09.21 創刊号

総研広報

九州共立大学総合研究所 広報誌

1. 総合研究所長就任のご挨拶

宮入嘉夫

この度、総合研究所長を拝命いたしました。非力ながら大役をお引き受けすることにしました。よろしくお願い申し上げます。

総合研究所(総研)は、初代所長の故藤井邦夫教授を中心とする経済学部および工学部の先生方の尽力で、2年間の準備期間を経て、平成13年4月に設立されました。本学に相応しい総研の組織および取り組み業務の基礎固めがなされ、総研の色(特色)が形成されました。しかし、志半ばで藤井先生は他界され、私ども研究所員にとって痛恨の極みでありました。

平成15年4月からは、二代所長能智紀台教授の下で、藤井路線を、更に広く、深くして各種事業に取組みました。地域社会を中心とするイベントへの積極的参画、本学が所有するシーズの発信、共同プロジェクトの立ち上げ・推進のほか技術支援等の諸活動に、多くの研究所員が努力し、お蔭様で「総研」の名が周知されるようになりました。

先代両所長の意図を引き継いでこれからは、築き上げてきた事業(財産)の絞込みと深化を図りつつ、研究所員が力を合せて産官学連携の一層の推進により、アウトプットを着実に出して行く所存です。

とくに、次の三点を標語にして、地域社会、地域産業に貢献して行ければと考えております。

1. 情報発信に努め、業務および活動内容を外部にアピールする。
2. 学園内の限られた人的資源、内外の技術力を有効に活用する。
3. 大きく窓を開き産官学と連携し、地域社会に支援、貢献する。

皆様方には、お気軽に「総研」にお声をお掛け頂ければと存じます。

皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

また、九州共立大学の新学部として昨年度開設されましたスポーツ学部の教員を総研に加え、更に特長のあつ、幅の広い、総研にして行きたいと考えております。

平成19年4月吉日

2. 運営メンバー紹介

平成19年度の九州共立大学総合研究所の所長以下、運営委員と役員は以下のメンバーで運営することになりました。

所 長

宮入 嘉夫(工学部教授)

副 所 長

増田 幸一(経済学部准教授)

企画室長(事務局)

尾道 建二(工学部教授)

産学官連携推進部門長	能智 紀台（工学部教授）
工学系研究部門長	宇野美津夫（工学部教授）
経済系研究部門長（兼）	増田 幸一（経済学部准教授）
運営委員	田中 邦博（工学部教授）

産学官連携推進部門(7 部)

モノづくり部長	山口 静夫（工学部教授）
技術支援部長兼フェア推進部長（兼）	能智 紀台（工学部教授）
経営支援部長兼ベンチャー活動推進部長（兼）	増田 幸一（経済学部准教授）
地域開発支援部長兼国際支援部長（兼）	尾道 建二（工学部教授）

工学系研究部門(5 部)

先端技術研究開発部長	生地 文也（工学部教授）
情報研究開発部長	三原 徹治（工学部教授）
防災研究開発部長	牧角 龍憲（工学部教授）
環境研究開発部長	富田 純史（工学部教授）
エネルギー研究開発部長（兼）	宇野美津夫（工学部教授）

経済系研究部門(4 部)

会計・情報研究部長	八島 雄士（経済学部准教授）
マネジメント研究部長	李 只香（経済学部教授）
国際経済研究部長	黄 冬柏（経済学部講師）
地域経済研究部長	水本 正人（経済学部教授）

スポーツ系研究部門（設置予定） 未定

3. ふくおか IST 研究 FS 事業 2 件採択

（財）福岡県産業・科学技術振興財団（Fukuoka Industry Science Technology Foundation）
<http://www.ist.or.jp/> が公募する「福岡IST研究FS事業」に当総合研究所は応募し、下記の 2 件が採択された。同一大学で 2 件の採択があったのは本学のみである。当事業は、大学等の研究シーズから実用化を目指した国などの大型研究プロジェクトへ発展させるため、その基礎研究を育て、将来の可能性の有無を確認する研究 FS を実施する研究者又はチームを支援するものである。

1. 能智 紀台教授：斜め蒸着法による高効率薄膜光触媒の研究開発
2. 生地 文也教授：プラズマスパッタ法による高導電性透明 ZnO 薄膜の開発

4. JST 募集申請テーマ

独立行政法人科学技術振興機構の地域科学技術理解増進活動推進事業機関活動支援事業、平成 19 年度二次募集に以下の 4 件を申請いたしました。

1. 面白科学実験－人工蛍光(化学発光)から遺伝子実験まで(吉永鐵太郎・林葉康彦)
2. 燃料電池で動く模型ミニカーの工作教室(山口静夫・池本友洋)

3. 2足歩行ロボットを動かそう！(能智紀台・水井雅彦)
4. スーパーカー周りの流れを視る－実験とシミュレーション(川嶋竜之介)

5. 小学生ものづくり教室を開催いたしました

(総研主催・北九州市教育委員会・北九州市産業学術振興局後援)

8月25日(土)・26日(日)、小学生を対象に総合研究所が主催した小学生ものづくり教室を開催いたしました。

両日とも暑い1日でしたが、併せて120名の地域の小学生(他に付添いの保護者70名)が参加して、風車・プラシロロボット・ソーラー回転台・ソーラーメリーゴーランドの4点の中から1つを選択し、製作しました。普段使い慣れないハンダごてやドライバーを使い、楽しそうに学生や教員と一緒に製作していました。

また、子供たちに負けず保護者の方も熱中されており、うまくいかないところを子供さんと一緒に悩み、試行錯誤を重ねながら作成されていました。

完成した作品は、好きな色で塗られたものや好きな絵が書かれているもの、また作品によっては色とりどりのビーズが飾られているなど個性豊かな作品に仕上がっていました。

小学生にとって、また保護者の方にとっても、楽しい夏休みの思い出になったことでしょう。



【小学生ものづくり教室のスナップ】

6. BPC今年度の企画紹介

【第4回九州共立大学発ビジネスプランコンテスト開催要領】

1. 目 的 : 九州共立大学では将来起業家を志す学生(高校生、大学生、大学院生)を対象に、新規性のあるビジネスアイデアを募集し、ビジネスプランの発表の場を提供します。これを機会に、学生に企業家精神を醸成し、大学発ベンチャー企業を生み出す機運を盛り上げます。
2. 日 時・場所 : 平成19年11月4日(日)10:00から12:00
深耕館1FS132教室にてプランのプレゼンテーションを行っていただきます

3. 公募の対象 : 高校生、大学生、大学院生等
4. 審査方法等 : 「ビジネスプラン提案書」の審査にあたっては、書類審査等を通じて「新規性」、「創造性」、「実現性」、「計画性」、「収益性」、「成長性」等の観点に照らして決定します。 賞品 : 1等(東京ベンチャー留学費用)、2等(東京ベンチャー留学費用)、3等(東京ベンチャー留学費用)、参加賞(5千円クオカード)
5. 採択件数 : 応募が多い場合は、採択件数は10件程度にいたします。採択された方には、10/17(水)17:00までにご連絡いたします。
6. 応募方法 :
- (1) 提出期限
- 2007年10月1日(月)ー10月12日(金)17時までにビジネスプラン提案書を、九州共立大学総合研究所事務局宛 E-mailの添付ファイルにて送信下さい。郵送及び直接の提出も認めています。(連絡先の携帯電話の番号を記入願います)
- ビジネスプラン提案書のワープロファイル(ワード形式)は、URLで入手可能です。
- (2) 公募に関する問い合わせ及び提出先
- 九州共立大学総合研究所(担当:石丸)
- E-MAIL : ishimaru@kyukyo-u.ac.jp
- 応募様式等の請求、お問い合わせについては、E-MAILでお願いいたします。
- 記入方法等の問い合わせは、経済学部増田(090-3607-5297)までお願いします。
- 説明会、勉強会は、9/25(火)、10/2(火)の昼休み12:30~13:00に行います。(第一学舎47教室)

7. 「東京ベンチャー留学」九州共立大学生の体験記

(1) 第19期参加・藤田哲弥君(経済学部経営学科3年)

東京ベンチャー留学では得たものが沢山あります。起業家の人から得るのは当然なのですが、同じ志を持つ参加者から獲る事ができたのは凄く嬉しかったです。メンバーとは生涯を通して友人であり、ライバルです。

年齢、性別、出身地、全てが違う人達と朝まで語り合う事がどれほど大切な事なのかを知りました。考え方は十人十色で楽しく、見聞を広めることが出来る。という意味でも良かったと思います。最後に「こいつだけには負けたくない!」そう思える人に会える場所です。



(2) 第20期参加 力武晋也君(経済学部経営学科3年)

僕がTVR(東京ベンチャー留学)を通じベンチャー企業の社長の方たちと話し合っていく中で感じたのが、「何事も全力を出しきることであり、それによって人は成長するんだ」とごく当たり前のことだけれど学びました。また、常にチャレンジし続けることの大切さを知りました。



【九州共立大学の東京ベンチャー留学に関する問い合わせ先】

九州共立大学総合研究所 担当：岡部

電話・FAX：093-693-3012（内線 215） E-mail：k-okabe@edu.cc.kyukyo-u.ac.jp

8. 客員研究員の委嘱

九州共立大学総合研究所 客員研究員の委嘱状交付式が平成 19 年 7 月 4 日（水）12 時から行われ、佐古学長から委嘱状が手渡されました。以下の 4 名の方々が客員研究員として研究活動に入られます。

岡部勝成：福岡ひびき信用金庫から派遣（本学経済学部非常勤講師）

緒方純俊：前本学工学部教員

野沢忠生：前本学工学部教員

開田一博：新日鉄八幡製鉄所 OB（北九州イノベーションギャラリー主任研究員）